

Gno G-let

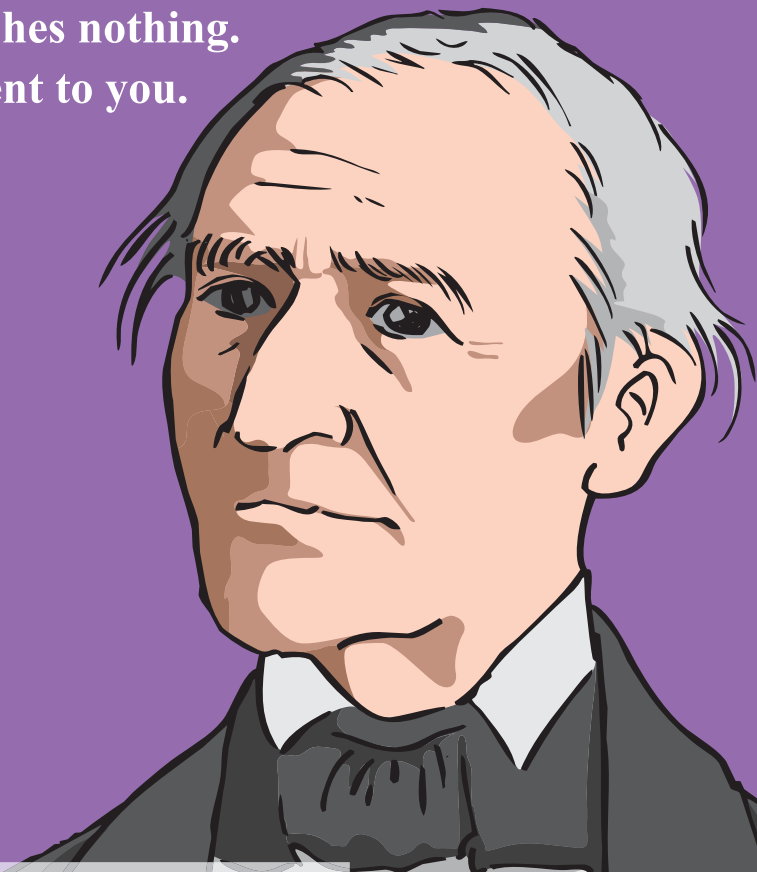
グノレット

vol.7
2012年1月発行

中学生・高校生の保護者の方へ

Without ambition one starts nothing.
Without work one finishes nothing.
The prize will not be sent to you.
You have to win it.

ラルフ・ワルド・エマーソン
(Ralph Waldo Emerson, 1803年-1882年)
アメリカの思想家



グノーブルOB 英語圏帰国 ▶ 東大生座談会

『僕らはグノで、大人の英語に脱皮した』

GSL (グノーブル独自開発音声教材)
活用編② / 全3回: 中学

2011年 東大理科Ⅲ類合格 安田陽平くん執筆
『僕はこうして理Ⅲの門をくぐった! 勉強法大公開』 第3回



Gnobleは、私たちの理念をこめた造語です。
Gnoは「知」、bleは「力」をあらわします。
Gnoは、knowを意味するギリシア語、bleは、ableに由来します。
oiは「知識のつながり」、「人とのつながり」も意味しています。

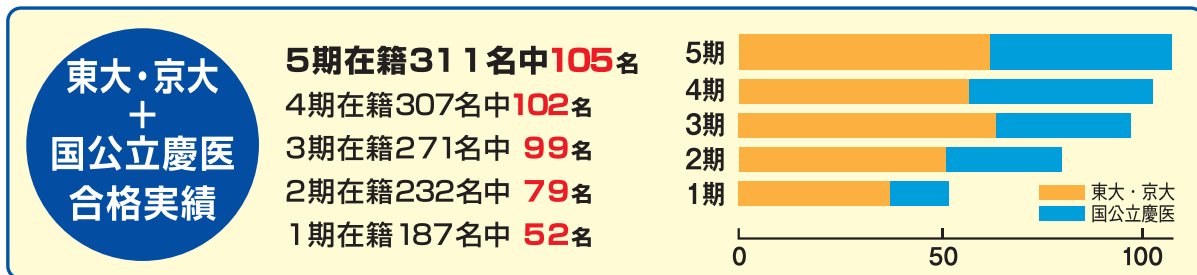
2012年2月12日(日曜)
新中1生スタートダッシュ講座 **Sターム** 開講!

新中1生 説明会 **参加無料(予約不要)**

2/9(木) **2/12**(日) **2/18**(土) **2/26**(日)
10:30~ 新宿本館 10:30~ 渋谷本館 10:30~ 新宿本館 10:30~ 渋谷本館
※2/18(土)・2/26(日):新中2~新高3生説明会 同時開催

2011年 大学受験合格実績 第5期 在籍**311**名

東大各学科類	東京大	国公立慶医	医学部医学科106名
理科Ⅰ類 25名	62名	39名	東京医科歯科大(医) 1名
理科Ⅱ類 10名			東北(医) 1名
理科Ⅲ類 1名			千葉大(医) 4名
文科Ⅰ類 12名			北海道大(医) 1名
文科Ⅱ類 8名			横浜市立大(医) 3名
文科Ⅲ類 6名			筑波大(医) 5名他
			※国公立大医計33名
国公立大138名	慶應大	早稲田大	上智大
京都大 4名	141名	148名	48名
一橋大 8名			
東工大 5名			東京慈恵医大(医) 8名
東外大 6名他			順天堂大(医) 10名
			日本医大(医) 8名
			昭和大(医) 7名他
			※私立大医計73名



GnoTube GNOBLEを動画で体験!

どんな先生がいるんだろう?
どんな授業をするんだろう?
グノーブルは何が違うんだろう?

www.gnoble.com/gt/

新宿本館 アクセス: JR新宿 サザンテラス口 徒歩1分
〒151-0053 JR代々木 北口 徒歩5分
渋谷区代々木2-8-3 新宿GSビル1F

渋谷本館 アクセス: JR渋谷 宮益坂口 徒歩5分
〒150-0002 東京メトロ渋谷 11番出口 徒歩4分
渋谷区渋谷1-7-6 青山CRビル1F

お茶の水本館 アクセス: JR御茶ノ水 御茶ノ水橋口 徒歩2分
〒101-0062 東京メトロ御茶ノ水 徒歩3分
千代田区神田駿河台2-5-5 東京メトロ新御茶ノ水 B1出口 徒歩4分
村田ビルディング3F (1Fスターバックスコーヒー)

大学受験グノーブル事務局【新宿本館・受付】

お問い合わせ 月曜~金曜 15:30~21:00 / 土曜 14:00~21:00 / 日曜休館
〒151-0053 渋谷区代々木2-8-3 新宿GSビル1F

TEL 03-5371-5487 FAX 03-5371-5488



一知の力を活かせる人に

大学受験
グノーブル

グノーブルにアクセス。東大にアクセス。
www.gnoble.co.jp
新宿・渋谷・お茶の水



こんにちは。今年の受験が近くなってきていますね。グノの後輩がたくさん大学の後輩になってくれるのが待ち遠しいです。

※

さて、今回は具体的にグノに行くようになってからの僕の英語の勉強について書こうと思います。

僕は埼玉の高校に通っていたので、正直グノのある新宿や渋谷は遠かったのですが、行き帰りの時間を授業の予習復習に利用していました。復習はともかく、予習は授業直前にやったほうが問題を自分がどう考えたかが頭に入ったまま授業に挑めるのでおすすめです。ぜひ試してみてください。

僕はグノに入ってから、基本的にはグノの予習復習以外は英語の勉強はしませんでした(宿題は基本的に予習でした)。

とはいえ、予習の文章の量は少なくなく、また、授業では難しく深い英文を中心に扱い、復習はかなりの時間をかけることができたので、グノの場合は内容的にも量的にも、英語の勉強は予習復習だけで十分なのです。

僕は高二のうちはまだ周りに比べて劣るところも多く、予習をするのに精一杯で、実際にはあまり復習はできませんでした。それでも高二の授業では、覚えるべき単語や文法は演習に何度も出てくるため、解説さえ集中して聞いていれば自然と身につく、授業についていく実力はちゃんとついていったと思います。

もちろん、個人差はあるとは思いますが、聞くだけで身につくことも多いので、授業をとことん集中して受けることが何よりも基本だと思います。

高三では、予習よりも復習を重視するようになりました。授業で扱う問題のレベルがあがったためです。高三で扱った文章や文法は、単語的にも文法的にも難しく、

時間を空けて見直すと授業が思い出せなくなってしまうので、一度やった内容も定期的に見直すことでようやく身につけることができたように感じます。

とはいえ、すべてを復習するのではなく、新しく学んだことや重要な項目が多いと思ったプリントから順に必要と思うもののみ復習していました。それを選ぶ基準として、先生の「これを見返すべき」などの指示や、先生が解説にあてた時間などを参考にしていました。

復習において有効だと感じたのはGSL(音声教材)です。以前はiPodなどを持ち運ぶ習慣がなかったので、実は高二の頃はほとんど利用していませんでした。今思うと、そのために、このころは英語が比較的得意な割に復習に時間を取られていました。しかし、高三の夏くらいから理科に時間をとられはじめ、英語を効率的に勉強する必要がでてきて、その方法を試行錯誤で模索した中もっともよいと思ったのがGSLと音読の併用でした。

音読による復習は、前回のコラムに書いたように、文章を戻らず読む練習として非常に効果的でした。一方で、音読は自分の家のような、周りを気にしなくてよいところでしかできないという短所もあります。

一方、GSLは周りの環境にかかわらず隙間時間でできるのが長所です。シャドウイングやディクテーションなど、リスニング力強化につかうこともできるだけでなく、授業で扱った文章を収録しているのも、授業を思い出しながら、文章を戻らずに(音は流れていくので…)意味を解釈する練習ができるといった点で音読の利点も備えています。

そうした点でGSLは非常に

